



高速しが

平成28年
3月号

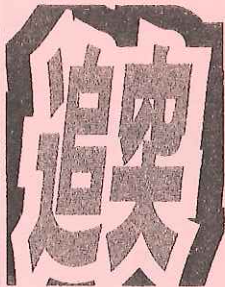
発行 滋賀県高速道路交通安全協議会・滋賀県高速道路交通警察隊

高速道路の安全走行

高速道路は交通の大動脈であり、時速100キロで車が走行しており、一旦交通事故が発生すると、多重事故、死亡事故等の重大な交通事故につながる可能性が高くなります。

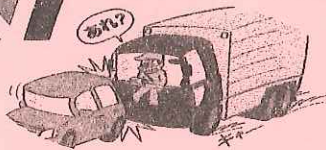
これを未然に防ぐためには、運転者自ら、安全運転の基本を再認識し、交通事故を起こさない、起こさせない運転に心がける必要があります。

高速道路の事故多発パターン



その1 渋滞最後尾の車に追突

工事や事故処理等で先行車両の速度が予想外に低下することがある

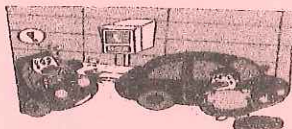


その2 上り勾配で前車に追突

トラック等大型車の速度が落ち、急激に車間距離が詰まる

その3 ゆるやかな長い下り坂で前車に追突

アクセルが一定でも、自然に加速され車間距離が詰まり、制動距離が延びる

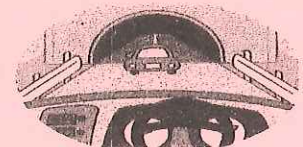


その4 路肩停車中の故障車などに追突

漫然と運転していると、停止車両に吸い寄せられて追突することがある

その5 トンネル出口付近で前車に追突

外の明るさに目が順応できず、トンネル出口付近の状況が見えにくくなる



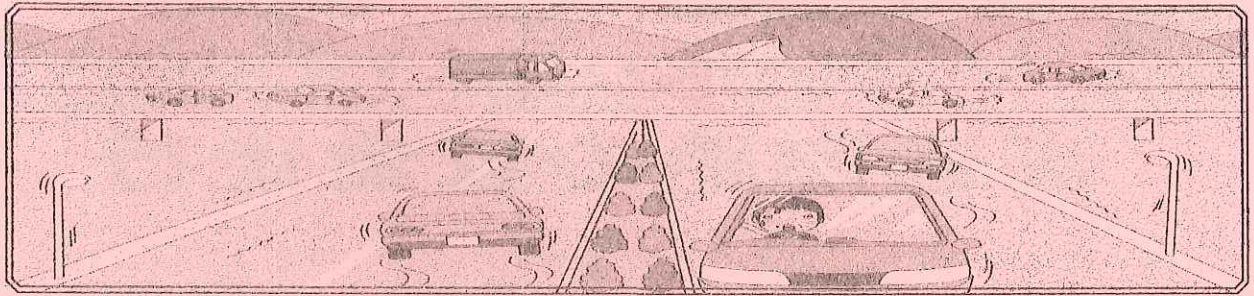
交通死亡事故発生！！

交通死亡事故が発生しました。

新名神高速道路において、中型トラックが、大型トラックに追突して、中型トラックの同乗者が亡くなりました。

車を運転する際は、前方をよく見て運転してください。

地震への備えは？



世界でも有数の地震大国日本。私たちは、いつでも、どこにいても地震に遭遇する運命にあります。高速道路走行中のある日突然、大地震に見舞われたとき、あなたはどのような対策がとれますか？その時のために基本的な対策と運転マナーを心得ておきましょう。

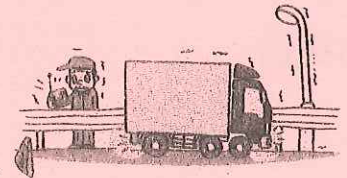
走行中地震が発生したとき

① 急ハンドル、急ブレーキをかけないで、ゆっくりと減速し、あわてずに道路の左側路肩に停車しエンジンを止めましょう。



② 長大のり面の下、トンネル出入口付近では、崩落の危険があるので極力その場所を避けて停車してください。

③ エンジンを止め、ハザードランプをつけガードレールの外などに避難しましょう。

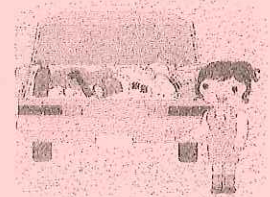


④ 車両火災が発生したら、お互いに協力して消火することで渋滞車両への延焼を食い止めましょう。

⑤ ラジオ等で地震・交通情報を聞くなどし、周囲の状況を確認しながら行動しましょう。やむを得ず、道路上に車を放置して避難するときは、ドアロックせず、エンジンキーはつけたままにしましょう。



⑥ いざという時のために車には「水、食料、懐中電灯、携帯ラジオ、毛布」等の非常用品を備えておきましょう。



⑦ 高速道路は、震度5弱以上で通行止めとなります。

また、警戒宣言が出されると、高速道路は緊急輸送路となり流入は制限されます。